

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・細胞・排泄物など）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液・細胞・排泄物など）を利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

肝線維化マーカー オートタキシン新規活性測定法試薬の臨床性能評価に関する研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 日浅陽一（消化器・内分泌・代謝内科学 教授）

【研究の目的】

肝疾患患者において、肝臓が損傷した細胞を修復して新しい組織で置き換えようとする過程で生じる肝線維化の程度を正しく評価することは、肝発がんリスクのマネジメントの観点から非常に重要です。近年、血清オートタキシン濃度が肝線維化の程度と相関することが明らかになってきました。本研究では、新たに開発された血清オートタキシン活性測定試薬が、オートタキシン濃度と同様に肝線維化診断に有用であるかを検証する事を目的としています。本研究は、保存検体を用いるため、患者様に直接的な負担はございません。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 1990 年 1 月から 2022 年 9 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち、慢性肝疾患と診断され、肝生検を受けた患者さん
（利用するカルテ情報） 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
（利用する試料） 通常の診療で使用した後に残った試料（血液・細胞・排泄物な

ど)

【共同研究について】

この研究は、他の研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータ/試料は、名前や住所など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、CD-R に保存した電子ファイルを郵送することによって富士フイルム和光純薬株式会社に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学 廣岡 昌史

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学 廣岡 昌史

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 089-960-5308